

# 登別市の地域とともにある学校づくり

魅力あるコミュニティ・スクールの導入と効果



温泉街を彩る鬼花火



人口 49,660人(H28.5)

面積 212.21km<sup>2</sup>

小学校 8校 2,239人

中学校 5校 1,185人

毎年300万人超  
が訪れる観光都市

登別地獄谷  
噴火活動によりできた爆裂火口跡、  
1日1万トンの温泉が湧き出る。



## 登別市のコミュニティ・スクールの導入の目的

目的

子供や学校が抱える様々な課題の解決、未来を担う子供たちの豊かな成長のために、「地域とともにある学校づくり」を進める

これまで……

### 地域と連携した学校の実践

- ・学校支援地域本部の開設(登下校時のパトロール・土曜寺子屋)
- ・放課後子ども教室の開設(鷺小・東小)・通学合宿の実施
- ・学校評議員の任命(市内13校すべて実施)
- ・学校関係者評価の実施・学校評価の公表
- ・学校便り等の地域配布
- ・地域行事への参加・協力

期待するもの……

- ・校長のリーダーシップ
- ・地域の教育力を引き出す
- ・地域に開かれた学校
- ・学校を地域コミュニティの核に
- ・教職員の子供と向き合う時間の確保

さらに……

### 地域住民の参画による学校や子供の教育支援

そのために……

### 登別版 コミュニティ・スクールの構想

何を話し合うのか……

### 学校運営協議会の開設

### 運営の内容

- ・学校評議員から学校運営協議会委員への移行
- ・学校経営方針への意見と承認
- ・学校課題の共有化・熟議
- ・教育活動への地域の参画促進
- ・学校関係者評価委員会の設置

②

## 登別市のコミュニティ・スクールの導入の目的

目的

地域コミュニティの核となることが期待される学校を活用して「地域の活性化」を図る

これまで……

### 学校にとって都合のよい地域づくり

- ・各種行事への協力依頼
- ・学校花壇等の環境整備
- ・通学路の見守り活動 等々

期待するもの……

- ・地域の活性化
- ・学校の垣根を下げていく
- ・学校を地域コミュニティの中心に

その結果……

### 学校や保護者への不満

そのために……

### 登別版 コミュニティ・スクールの構想

何を話し合うのか……

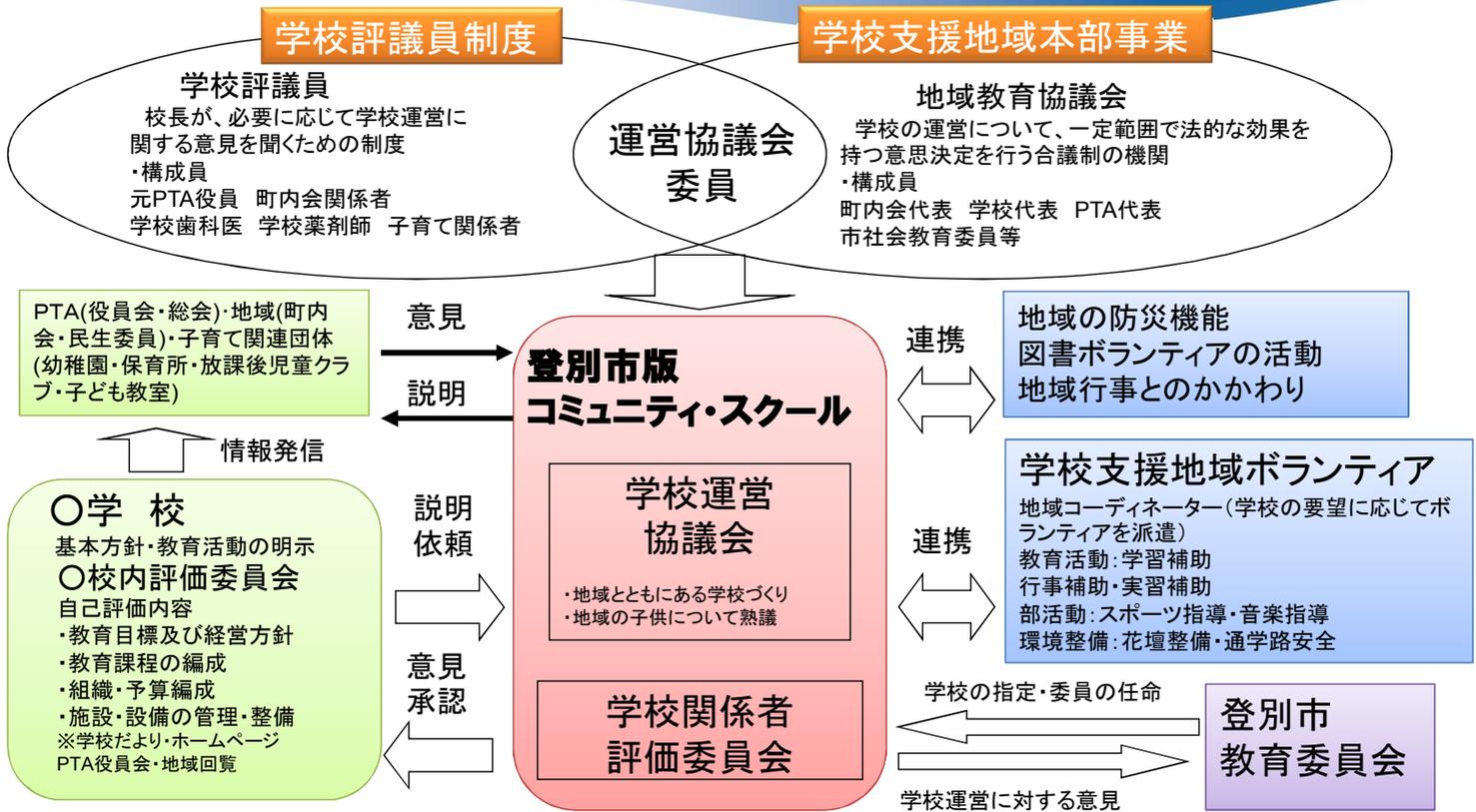
### 学校運営協議会の開設

### 運営の内容

- ・地域の願いを受け止める
- ・どのような地域にしたいのか
- ・地域の子供たちをどのように育てていくのか
- ・地域とともにある町づくり

③

# 登別市の「コミュニティ・スクール」の概要



子供の生きる力の育成・地域の教育力向上・学校を核とした地域ネットワークの形成・地域コミュニティの礎の構築・学校力の向上

④

## 「コミュニティ・スクール」開設までの手順

開設への  
雰囲気づくり

H24.9 登別市コミュニティ・スクールの概要・学校運営協議会要綱の作成

H24.10.12 学校運営協議会要綱の検討 (10月定例校長会議提案)

H24.10.25 市教研講演会  
「コミュニティ・スクールと私たちの町の未来」  
講師: 吉田博彦氏

12月 地域とともにある学校づくり推進協議会  
コミュニティ・スクールフォーラム 文部科学省  
校長会長参加

H25.2 学校管理規則の一部改正 (学校運営協議会設置) 定例教育委員会提案

開設への  
土壌づくり

H25.4 学校管理規則の一部改正 (学校運営協議会設置) 施行

H25.4 学校支援地域本部事業に情報提供(総会)

7月 校長会との協議

10月 コミュニティ・スクール説明会  
・学校支援本部事業関係者・学校評議員・学校長・連合町内会長・主任児童委員など(市内5地区)

全ての  
学校で  
開設

市教委 学校運営協議会委員の任命  
コミュニティ・スクール指定

学校 学校運営協議会委員の選出  
学校運営協議会設置の申請

平成26年度中(準備が整った学校から) コミュニティ・スクール開設

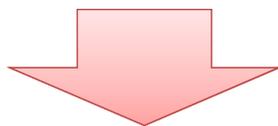
⑤

## これまでの取組を生かす

これまでの学校、  
学区での取組



- 学校花壇・畑整備
- 安全パトロール
- PTA整備作業
- 学校支援地域本部事業  
(ふれあい農園、さけの稚魚放流 等)



- 畑作りボランティア
- 見守りボランティア
- 学習支援ボランティア

- ◎地域避難訓練
- ◎地域との懇談会

- 学校支援地域本部事業

地域への  
要望



CSへの  
要望



地域

これまで通り

⑥



コミュニティ・スクール

## これまでの取組を生かす

### 学校・地域の状況に 応じタイプを決める

#### 特色ある教育活動タイプ

- ・地域の歴史、自然学習
- ・伝統芸能保存活動
- ・ふれあい農園体験活動
- ・さけます採卵、放流体験活動
- ・スキー、柔道などへの協力



#### 学校評価タイプ

- ・学校経営方針・教育課程編成協議
- ・学校行事、PTA活動総括
- ・学力、体力向上の取組の協議
- ・学校評価集計・分析結果協議
- ・学校改善に向けた検討会議



地域とともにある学校

#### 教育活動タイプ

- ・放課後、休業日の学習支援
- ・土曜寺子屋
- ・野外体験活動支援
- ・キャリア教育支援
- ・学校図書ボランティア活動

#### 安心・安全タイプ

- ・地域合同避難訓練
- ・登下校見守り活動
- ・通学路点検、美化活動
- ・学校避難所会議
- ・地域防災教育

#### その他

- 学校課題解決タイプ
- いじめ・不登校対策タイプ
- 一貫教育推進タイプ  
など



⑦

## 役割を明らかにする

### コーディネーターの役割



学校運営協議会



学校運営協議会委員長



例  
放課後学習塾を行いたいから、適任者を探してください。



コーディネーター

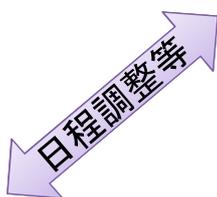
### ボランティア隊結成に向けて

- 1 地域の個人、団体へ依頼
- 2 学校支援ボランティア登録
- 3 名簿整理

(保護者への呼びかけについては、学校に依頼する。)



学校の窓口 担当教諭



### 活動時には

- 1 日時等の連絡
- 2 出欠の確認など

⑧

## 役割を明らかにする

### 学校運営協議会委員長の役割



学校運営協議会



学校運営協議会委員長



協議会で話し合った内容を基にコーディネーターと話し合う。



コーディネーター

- 1 協議会を招集する。
- 2 話し合った内容をまとめる。(学校運営に関する意見等)
- 3 関係者、関係機関との調整をする。



協力を依頼したり、地域の要望を聞く。



地域

⑨

# 役割を明らかにする

## 学校の窓口(教頭)の役割

- 1 委員長と協議会の開催日時を確認し関係者に開催案内を出す。
- 2 PTA役員会で学校の要望等をまとめておく。



学校の窓口



学校運営協議会委員長



コーディネーター



地域

調整・依頼等

- 1 話し合った内容をまとめる。(学校運営に関する意見等)
- 2 関係者、関係機関との調整をする。
- 3 校内の要望等をまとめる。
- 4 担当教諭と日程等の調整を図る。(事業内容によっては)
- 5 話し合いの内容をPTA役員や保護者に周知する。
- 6 委員会に報告

## どのように地域とともにある学校づくりを行っているのか

公園で遊ぶ子供たちが増えてきている。さらに学校での外遊びの奨励をお願いするとともに、地域でも見守っていく。

体力向上も地域の教育資源を活用し連携のもと進めた方がよい。

土曜授業で道徳の授業を参観した。是非、来年以降も継続して公開してほしい。

SNSの適正使用について地域ぐるみで啓発を図る必要がある。

地域としていじめ防止のために具体的な協力を行いたい。

自転車の乗り方がよろしくない。改善の工夫をしていく必要がある。



学校運営協議会

### 主な議題

学校評価、学校経営方針、学力向上対策、いじめ対策、体力向上対策、放課後学習、スキー学習、世代間交流、開校記念事業、豊かな心の育成、図書ボランティア、校舎耐震化、交通安全、土曜授業など

# どのように地域とともにある学校づくりを行っているのか

## 運営協議会委員

## 学 校

何とかしてあげたいね。

学力テストの結果から分かるように算数が落ち込んでいます。

誰か地域で教えてくれる人がいないかな。

放課後等で教えてあげたいんですけどなかなか時間がとれないんですよ。

委員会や地域コーディネーターに相談してみましよう

どなたか紹介していただけませんか。



学校運営協議会

地域の方が先生の放課後学習塾の開催

12

# どのように地域とともにある学校づくりを行っているのか

## 運営協議会委員

## 学 校

町内会の避難訓練の参加率が少ないんですよ。

子供たちにとっても安全意識を高めることは大切です。

学校も参加していただけないですかね。

土曜授業がありますので合同で実施しますか？

防災担当者に連絡しておきます。

学校運営協議会

授業の一環として参加させていただきます。

学校地域  
合同避難訓練の開催

13

## CS導入の効果(子供たちにとって)

### 子供たちを取り巻く環境の充実



#### 放課後学習の実施

市内全ての小学校で実施（現在は7校）、各学校で10名程度の地域ボランティアを募り、運営している。問題、解答集は教育委員会で作成し、提供している。中学校については、退職教諭の協力のもと実施。



#### 地域見守り隊

市内全ての小学校で実施、町内会を通して地域ボランティアを募り、放課後の下校時間に合わせて通学路の見守りをしている。



#### 地域の先生

総合的な学習の時間や家庭科等の教科、クラブ活動において、地域の先生として協力いただいている。

⑭

## CS導入の効果(地域にとって)

### 地域の活性化



#### 合同避難訓練の実施

町内会主催の避難訓練に学校も参加し、合同で行っている。運営協議会に町内会役員も参加している。（地域行事の参加率上昇）



#### 町内会行事への参加

町内会主催のお茶会や町内清掃に児童生徒も参加している。



#### 地域伝統芸能の継承

地域に古くから伝わる伝統芸能は、後継者の人材不足等により休止や存続が危ぶまれている。そこで、児童生徒が授業の一環として取り組み、地域文化を守っている。

⑮

# CS導入の効果(学校にとって)

## 学校を守る体制(応援団)

### 保護者対応

なかなか理解が得られない保護者に対して、セカンドオピニオンの役割を運営協議会委員に担っていただく。教育委員会は各学校に対して、問題が発生した場合に内容によっては、運営協議会にも相談するよう助言している。

### 不登校対応(原因が家庭による)

程度にもよるが、例えば、市や児童相談所に相談する段階に至っていないネグレストが疑われる場合には運営協議会委員の方と家庭訪問をする。

また、何らかの障がいと思われる不登校児に対しては、市教委と連携のもと、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、心の教室相談員を活用して保護者に働きかける。

### 学校関係者評価委員会

内部評価と保護者評価のギャップから、学校に求められていることの多さ、それに対応するための労力などを明らかにすることで、学校の状況を理解していただく。

16

## 今後に向けて

### より広く深く浸透させる

各学校では、コミュニティ・スクール通信を年間10回程度、教育委員会でも教育広報を発行し地域に配布している。今後も継続して情報提供をすることで、仕組みを理解していただき、学校の応援団を増やしていく。

各学校で実施している家庭教育学級に教育委員会職員が出向き、地域とともにある学校づくり、地域全体で子供たちを育てていくことの重要性を理解していただく。

### 学校運営への参画意識を高める

協議会の司会を地域の方、コーディネーターが全て行っているのは小学校で8校中6校、中学校で5校中1校となっている。学校、家庭、地域が対等に意見を出し合い、熟議するためにも学校職員以外が中心となった運営が必要である。



17